

加納小は、『いじめ』をゆるしません

加納小学校職員一同

いじめがおこらないように加納小で大切にしていること

- ・美しい心みつけ（学級，全校）
- ・学級活動での仲間関係づくり
- ・一人一人を大切にした授業づくり
- ・先生たちからの認めの通信や掲示物
- ・道徳や人権教育での美しい心みつめ
- ・なかよし遊びや集会などでのたて割り活動 等

それでもいじめがおきたら

いじめられた子

<相談する>

ほご者、先生たち、友だち、
その他外部き関（相談センター、けいさつ等）

<事実かくにん>

だれが、いつ、だれと、だれに対して、何
をされたかなど、本人だけでなく、いろん
な人にかくにんします。

相談することは、
はずかしいことではありません。
だれにでもよいです、
あなたのなやみを聞かせてください。
また、いじめを見た、知っている子も
すぐに教えてください。

<しゃざいの会>

あやまるだけではすまないこともある。それでも心からあやまる。
⇒ほご者の方どうしても話し合ってもらおうことがある。

<安心な生活をおくる>

しゃざいの会があった後も、あなたが安心
できるまで先生たちがちゃんと見守ってい
きます。

いじめた子

「いじめている」と思っている子はいない
いじめられた子の気持ちをゆう先する。

<事実かくにん>

だれが、いつ、だれと、だれに対して、何
をしたかなど、本人だけでなく、いろん
な人にかくにんする。

<指どう>

学年の先生、生と指どうの先生、校長先生
などから、いじめに対する指どうを行う。
⇒ひどいいじめの場合は、けいさつなどが入ることもある。

<ほご者への指どう>

いじめは子どもへの指どうだけではすまないことが多い。

<あやまったら終わりではない>

自分の行動をいつもふり返り、人の気持ち
を考えながら生活する。
いじめたという事実はなくなる。

みんなが安心して生活できる加納小